

「明日に吹く風」

光風館通信 2021 年度 第5号

○「光風館ブログ」@Classi 始めます！！

光風館保護者の方から「カジュアル」な感じで構わないので、写真を多く載せた通信文を読みたいとのリクエストをいただいております。そこで、「Classi」(本校が導入しています教育支援サービス)を使って「光風館ブログ」を発信することにいたします。「光風館通信」『明日に吹く風』は館通信の「フォーマル」版としてこれまで通り本校ホームページに掲載して参りますので併せてお読みいただきたいと思います。この件に関しては、すでに『さくら連絡網』(11/18 付「Classi を利用した各館通信の発行について」)でもご案内しておりますのでご参照ください。

なお、「Classi」へのアクセスが何らかの理由で不可となっていてこの通信文が読めないような状況にある場合には、恐れ入りますが「のぞみ寮本部(担当:山崎)」までご連絡いただけますようお願いいたします(025-259-2390)。

すでに第1号を同じく光風館担任の山崎より発信させていただいております。この通信に関するご質問やご意見などがございましたら遠慮なくお寄せください。今後とも「のぞみ寮」および「光風館」の教育実践へのご理解をよろしくお願いいたします。

○「労作クラブ」で「紅はるか」を収穫し、食しました！！

実は、光風館には「労作クラブ(「料理クラブ」からの改称)」なるものが存在します。光風館前の畑で「作物を育て、それを美味しく食す」という活動をしています。部長は2年生のM.Y.(新潟市秋葉区)くん、部員は1年生のH.Y.(新潟上越市)くん、U.N.(新潟市秋葉区)くん、A.D.(新潟新発田市)くんの3名です。活動日は不定期、飛び入りで部員でない生徒が加わることもあります。光風館前の空き地は今年の4月まで「草ボーボー」の状態でした(東寮長が光風館1階教員住宅に住んでいた時は、奥様と生徒達が同じように野菜を育て食していたそうです)。この「労作クラブ」のメンバーが草を抜き、土を耕して畑をつくったのです。夏場はキュウリ、トマト、トウモロコシ、ナス、エダマメ、キャベツに挑戦しましたが、まともに食せたのは、キュウリとトマト、それにエダマメだけでした…。それ以外はというと「敬和村」(敬和の校地をこう呼ぶことがあります)に生息する動物たち(確認できているのはタヌキとキジです。もう少し大型の動物もいるようなのですが未確認です)の餌となってしまいました。そうそう、キャベツはモンシロチョウが卵を産み付け、やはりアオムシたちのご馳走となってしまいました…。一切、農薬を使っていませんので動物や昆虫にとっても美味しい野菜だったのだと思います。

晩秋での収穫を期待して植えたのはサツマイモでした。品種はあの有名な「安寧芋」を上回る糖度と美味しさと言われる「紅はるか」です。夏の暑い中、部員たちは草取りと水遣りを続けました。その甲斐あって、11月中旬、待ちに待った収穫の時をもつことができました。収量こそ多くありませんでしたが、形がよく、程よい大きさの芋が獲れました。

先日、その収穫した芋を使って「大学芋」、そして「スイートポテト」をつくりました。私を含め男4人の料理教室となりましたのでテンヤワンヤでしたが、何とか美味しい大学芋とスイートポテトができあがりました。私はてっきり仲間内で食べてしまうのかと思っていたのですが、彼らは週末で寮に残っていたほとんどの光風館生に配っていたようです。さすが「のぞみ寮生」、「光風館生」！！と思いました。現在、

畑にはダイコンとカブ、それにタマネギが植わっています。ダイコンとカブは、また何かの形に調理して部員たちと食したいと思います。

「大学芋」と「スイートポテト」の調理の様子は、掲載する写真の数を増やして「光風館ブログ」@Classiでも発信いたします。併せてご覧ください。

